

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年5月14日(木) **第204号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

連合「労働者保護ルール改悪阻止を求める5・11院内集会」

連合と民主党が、がっちりスクラム

労働法制改悪阻止へ！

退職者連合も連帯、三二名参加

連合は、五月一日(月)一五時から衆議院第一議員会館において「労働者保護ルール改悪阻止を求める五・一一院内集会」を開催しました。これは五月一二日から始まった衆議院厚生労働委員会の審議に対応したものです。集会には、民主党国会議員六五名(国会議員四名、秘書など)、連合組合員一六一名をはじめ、退職者連合会員三二名など二六七名が結集しました。

くりあげました。

社会保障制度を守れ

また退職者連合も、「社会保障制度を守るためにも安定した雇用の確保が必要で労働法制改悪は許さない」との立場から、阿部保吉会長を先頭に中央退職者組織、千葉高退連合、本部事務局など現退一致で参加したものです。

阻止へ、民主党が決意

五月連休明けの国会において安全保障関連法制とあわせて、連合は最重要法案としている派遣法などの労働法制改悪の動きに対し、これを阻止するために五月一日から一五日までを「労働者保護ルール改悪阻止ウィーク(第一波)」として位置づけ、主要駅頭での街宣行動や院内集会、国会傍聴行動、国会前座り込み行動などを全力で展開しました。この日の集会は、改悪阻止ウィークのキックオフ

フとして連合と構成組織の総決起とともに国会審議で奮闘する民主党の激励として実施されました。

主催者挨拶で神津里季生事務局長は、「今週から労働法制の国会審議が始まる。いづれも力の強い政党がズルズルと数の力で決めてしまう。将来津田弥太郎参議院議員と西村智奈美衆議院議員が、連合と連携して両院の厚労委員会審議を闘い抜く決意を表明したことです。これによって連合と民主党が阻止に向けて院内・外を貫いて力あわせのスクラムを組み、闘う態勢をつ

特に重要なことは、民主党の岡田克也代表や衆参厚労委員会の委員として厳しく政府・与党を追及している民主党の津田弥太郎参議院議員と西村智奈美衆議院議員が、連合と連携して両院の厚労委員会審議を闘い抜く決意を表明したことです。これによって連合と民主党が阻止に向けて院内・外を貫いて力あわせのスクラムを組み、闘う態勢をつ

時間労働など我が国の現場で起きている。そこに根本的な対策をせざる廃案に追い込む。みんなで頑張っていく」と決意表明しました。



(写真)集会では、労働法制改悪阻止に向けた力あわせが行なわれた。

全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会設立1周年5.9シンポジウム

再提出!?!とんでもない カジノ解禁法案にNOを!!

全国でカジノ賭博場設置反対に取り組んでいる全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会は、会の設立1周年にあたり5月9日(土)14時から東京・新宿区内の司法書士会館ホールで「再提出!?!とんでもない カジノ解禁法案にNOを!!」と題してシンポジウムを開きました。法曹関係者、学者、消費者団体、宗教家、報道関係者など50名が集まり、退職者連合からは菅井義夫事務局次長が参加しました。



自民党や維新の党、次世代の党など通称「カジノ推進議連」が今国会に再提出した「カジノ賭博合法化法案」が国会後半に審議入りされるという緊迫した状況の中で開かれたシンポジウムでは、はじめに代表幹事の新里宏二弁護士から上程された法案をめぐる国会の動きや全国の反対運動の取り組みなどについて情勢報告がありました。

続いて、「カジノは経済的繁栄をもたらすか」と題する静岡大学・鳥畑与一教授による基調講演が行なわれました。また参議院金融財政委員会において自民党・西田昌司議員が行なった「カジノ賭博合法化に反対する質問」のビデオが上映されました。

最後に、会の副代表幹事である菅井次長の閉会のあいさつとガンバローコールで締めくくりました。

「カジノ解禁法案」を審議入りさせない運動づくりへ

シンポジウムに先立って13時から開かれた総会では、自民、維新、次世代の党などが再提出した「カジノ賭博合法化法案」を審議入りさせないための運動を展開することなど、当面の方針を確認しました。

また、次期役員選出では、発足時に引き続き、代表幹事に新里宏二氏(弁護士・宮城)、副代表幹事に柴

田武男氏(聖学院大学教授)と菅井義夫氏(退職者連合)、事務局長に吉田哲也氏(弁護士・兵庫)をそれぞれ選出しました。

退職者連合は、反対連絡協に組織参加しており、カジノ解禁法案の廃案をめざして、引き続き弁護士や市民団体などと連携して取り組んでいきます。

5月26日 “低所得高齢単身女性問題”の学習会にご参加を

今、新聞紙上では「貧困」という文字が出ない日がないくらい、子どもの貧困や女性の貧困が取り上げられています。なかでも、低所得高齢単身女性問題は深刻さを増しています。

何故なのか。具体的には、生活保護の制度があっても情報不足で利用の手続きをしない、高齢を理由にアパートなどへの入居を断られる、認知症の兆候がみられても孤立している、などが指摘されています。しかも、そうした要因が置き去りにされ、表面化しないまま高齢者が社会から孤立する傾向が増えています。ネットワークや社会システムが十分に機能しないまま孤立した中で人生の最期を迎えざるを得ない状況は、大きな社会問題です。

この貧困を生み出している最大の要因に雇用問題があげられます。現在、非正規雇用の労働者は2,000

万人といわれています。特に40代後半以降の年齢層では、7割が非正規です。しかも、親も非正規雇用、子どもも非正規雇用と連鎖し、貧困層へと固定化されています。

退職者連合は、学習会を通じて「貧困問題」特に「低所得高齢単身女性問題」への認識を深め、意識を共有し、具体的な要求提言につなげて行きます。ぜひご参加ください。

記

1. とき 5月26日(火) 13:00~16:00
2. ところ 連合会館3階A・B会議室
3. 規模 120名
4. 講演 ○テーマ「女性と貧困」について
○講師 渥美雅子弁護士